

社長 第337回 INTERVIEW

北海道から日本全国へ向けて

光駿輸送(株)

— 佐々木光春社長に聞く



佐々木光春社長

今回は、北海道を起点に本州間の輸送業務に携わる光駿輸送(株)の佐々木光春社長にお目にかかった。

当社を中核として光駿グループを形成、お客さまのニーズに迅速に応えるべく輸送サービスに邁進する日々の取り組みについて佐々木社長にお伺いしました。

(聞き手：札幌支店情報部 柳澤 康行)

— 光駿グループの今日に至るまでの経緯についてお聞かせください

光駿輸送(株)の創業は、1983年(昭和58年)のことです。37年が経過いたします。

現在、光駿輸送(株)を中核としてワールドトランス(株)、サッポロコーション(株)、コーションコーポレーション(株)、光駿トレーラー輸送(株)、H.C.S観光(株)の各社で光駿グループを形成、一般貨物自動車運送業務を主体として、稼働している車両はグループ全体で886台ほどになります。

ここ札幌市清田区の本社を起点に道内では北広島市大曲工業団地、同大曲緑ヶ丘、函館と苫小牧、北見、本州では青森、仙台、大洗、東京、新潟、大阪、岡山に営業所を開設、需要がますます増加する北海道～本州間の輸送業務の拡大に対応し、フェリーを活用した各ターミナル間のスピーディーな輸送業務に力を入れています。取り扱う荷物は、各種雑貨のほか建設資材、飲料・農産物などの食料品全般、住宅機器、産業用品など多岐にわたります。

品質・鮮度維持を支える物流の要ともなっているのが2012年10月より稼働を開始した「大曲冷凍冷蔵物流センター」(北広島市大曲工業団地)です。センター内においては冷蔵倉庫や車両点検・メンテナンスのための整備工場を充実させ、日々の輸

送業務をサポートしています。

— 輸送業務に際して留意されていることは

当社グループにおいては「法令遵守」による安全運転を第一としています。車両を運転するドライバーに対しても安全運転の励行を日々呼びかけ、出発時から目的地到着までの間、点呼・点検をこまめに行わせています。また、個々のドライバーの安全運転に対する意識を高めるとともに会社としての取り組みにもいっそう力を入れていくことが必要との認識から2017年1月には当社およびグループ企業のワールドトランス(株)、サッポロコーション(株)、コーションコーポレーション(株)、光駿トレーラー輸送(株)の各社において道路交通安全マネジメントシステムである「ISO39001」の認証を取得いたしました。グループ企業が一体となつての同認証の取得は当時、道内では当社グループが初めてのこととなりました。

「ISO39001」は、交通事故による死亡と重傷を減らす活動を効果的・効率的に推進するためのマネジメントシステムツールとして2012年10月に発行された国際規格です。人的要因による事故発生を回避するためのリスク管理に加えて、シートベルト着用や制限速度遵守に貢献する行動対応の特定、事前の事故防止に向けた社内体制や事故発生時の組織対応など一貫した管理体制の確立が取得基準となっています。

当社グループ企業においては、これら必要とされる要件をクリア、ここ清田の本社と大曲冷凍冷蔵物流センターの2カ所に整備指定工場を有し、安全運行に向け24時間、車両整備に対応できる社内体制が確立されていることも評価の対象となりました。現在、この2カ所の整備指定工場においては検査官が計5名常駐しており、車両整備・車検業務に従事しております。



本社



プロバレーボールチーム「サフィルヴァ北海道」のチームバス

— お客さまニーズに応えるための取り組みについてお聞かせください

当社は、全国展開する大手運送業者や宅配便業者などより受注を得ており、取り扱う荷物も先ほど申し上げました通り幅広いものがあります。そうしたなかでも近年は食料品などが占めるウェイトも高くなっています。品質・鮮度の維持など安全・安心に対するお客さまニーズには高いものがあります。当社ではこれらに対応するために温度管理をより徹底した冷凍車・冷蔵車の運行を行っています。長距離間にわたり品質管理を怠ることなく運送を行うためには適温管理がなされなければなりません。車両を運転するドライバー自らによる温度管理はもちろんのこと、社内では稼働する個々の車両で適温が図られているリアルタイムで把握することができるシステムが構築されており運行管理をサポートしています。こうした独自の取り組みをこの間、22年以上にわたって行ってまいりましたが、お客さまからは相応の評価をいただき継続的な受注確保に繋がっていると思います。

このほか車両清掃を常に行き届かせることについても常に留意しております。荷物を託されるお客さまの多くが気かけられる点もありますが、それは当然であると思います。安全運転と同様にこの点も個々のドライバーの意識向上が求められるところです。常に清掃が行き届き整備面でもコンディションが良い車両を運転していれば心にも余裕が生まれ、結果として事故なく安心・安全を維持しながらの輸送に携わることが出来ます。

— 最後に今後に向けお聞かせください

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の全国に向けての発令もあってこの間、経済活動が大幅な落ち込みを余儀なくされました。物流

業界においても荷動きの低迷に遭遇いたしました。幸いにも当社においては業況堅持が図られ大事には至っておりません。

また、コロナ禍におけるサーモグラフィ体温計設置やソーシャルディスタンスが重視されるなかビジネスモデルや商流も変わり対面販売ではなくインターネット経由での物販が活発化していることも否めません。

多頻度小口配送の増加に伴うドライバーの負担は大きいのですが、何とかここを乗り越え、グループとして増収を果たしていきたいと思っております。

なお、当社グループのH.C.S観光(株)は、このほど札幌に拠点を置くVリーグ2部(V2)の男子プロバレーボールチーム「サフィルヴァ(Safilva)北海道」のオフィシャルパートナーとなりました。去る6月にはチームバスが完成しお披露目式を行いました。

「サフィルヴァ北海道」は道内においては2チーム目となるプロバレーボールチームで今後の活躍が期待されており、プロバレーボールを通じた地域の振興に向けて今後とも応援を続けていきたいと思っております。

— 本日はありがとうございました

会社概要

光駿輸送(株)

企業コード：010381896

本社：札幌市清田区平岡1条2-12-14

電話：011-887-3822

<https://coushun.co.jp/>